

ATC記録器レバーが下位置に！ 仕業検査担当を犯人扱い！

2月3日、J59編成16号車ATC記録器の紙押さえレバーが下位置になっているのが発見されました。J59編成は2月1日に仕業検査を行っています。2月3日、仕業検査車両所の科長は仕業検査で16号車を担当した社員に対し、電話で「仕業検査時しっかり見たか」「自信はあるか」「あなたが最後の確認者だ」とまるで仕業検査で16号車を担当した社員を犯人であるかのような問いつめ方をしました。事実、会社は16号車担当者を2月4日の勤務で事情聴取を行うため、代替要員を準備していました。

仕業検査担当に落ち度はなかった！ 会社はしっかり調査をしろ！

この件について会社は、当日のATCチャート紙を分析しました。分析結果、2月1日の仕業検査時の印字と、構内入換時の印字がしっかり残っていました。ATC記録器の紙押さえレバーが下位置のままではATCチャート紙に印字はされません。このことから仕業検査時の16号車担当者に落ち度はなかったこととなります。

にもかかわらず、会社は犯人扱いしたのです。このことがわかり、会社は本人に落ち度はなかった旨の連絡をしました。これを聞いて担当者も安心しましたが、「1日なにも手につかなかった」と言っています。当然のことだと思います。会社は犯人扱いする前にしっかり調査をしてから本人に問うのがあたり前だと思います。私たちJR東海労はこのような会社の姿勢を許すことは出来ません。職場からしっかり声を出していきます。

会社の強権的な労務管理を許さず共にたたかきましょう。

